



公式観光ガイド 2026

アンボワーズ王城

アンボワーズ・～から 17.30€

<https://chateau-amboise.visit-tickets.com/ja/>・優先入場チケット & 公式料金



史とエクスペリエンス

起源と歴史

王家の意志とルネサンスの息吹

GOOGLE **4.5** ★★★★★ 30 332 レビュー

TIQETS **4.7** ★★★★★ 1 886 レビュー

アンボワーズ王城の歴史は、紀元前のガリア時代まで遡ります。この地はかつて50ヘクタールのオッピドゥムとして知られ、ローマ時代を通じて重要な集落でした。中世に入ると、ノルマン人の侵攻から身を守るための要塞として強化され、10世紀にはフランス西部で最も堅固な拠点の一つとなりました。しかし、真の転換点は1434年です。国王シャルル7世が地元の領主ルイ・ダンボワズの陰謀を理由に城を没収し、ここに王室領としての新たな時代が開かれました。

1470年、この城でシャルル8世が誕生しました。幼少期をここで過ごした彼は、即位後に中世の砦をエレガントなルネサンス様式の王宮へと変貌させる壮大な計画を実行します。イタリアの影響を受けた建築を取り入れ、石造りの重厚さの中に洗練された美意識を注入しました。この改装は、単なる居住空間の変更ではなく、フランス王権がイタリア文化を受け入れ、自らの威厳を再定義するための象徴的な行為でした。

フランソワ1世の治世下では、アンボワーズはさらに文化的中心地としての地位を確固たるものへ昇華させます。特に注目すべきは、レオナルド・ダ・ヴィンチとの関係です。フランソワ1世はこの天才芸術家を招き、晩年の数年間をこの地で過ごさせました。ダ・ヴィンチはここで多くの発明や研究を行い、その知的好奇心は王家のパトロンシップによって支えられました。彼の死後、遺骨はサン＝ユベール礼拝堂に安置され、今もなお世界中の芸術愛好家を集めています。

19世紀に入り、城は歴史的記念碑として指定され、革命による破壊から救われました。1840年の保護指定により、ロジ・ロワイヤル（王宮）や礼拝堂などの主要建造物は将来の世代に残されることになりました。今日、訪れる者はただの観光名所ではなく、フランスの政治的・文化的変革の最前線だった場所を歩いていることを実感できます。

体験

エミール・アブデルカデル坂を上り、城門をくぐった瞬間、あなたは時空を超えた旅に出たような感覚に襲われます。眼前に広がるのは、ロワール川を望むパノラマテラスと、独特なシルエットを描く騎士塔（トゥール・カヴァリエール）です。朝日が差し込むと、石壁が金色に輝き、静寂の中で響く足音だけが、数百年前の王たちの歩みを思い出させます。

内部に入るにつれて、ゴシック様式の重厚さとルネサンスの軽やかさが融合した空間が広がります。サン＝ユベール礼拝堂では、光がステンドグラスを通り抜け、床に美しい模様を描きます。ここにはレオナルド・ダ・ヴィンチの墓があり、訪れる者の心を静かに包み込みます。建築の詳細や壁画を見つめることで、ルネサンス期の芸術と信仰がどのように交差していたかを肌で感じることができます。



訪問の準備

実用的な情報

住所

アンボワーズ市中心部 ・ エミール・アブデルカデル坂からアクセス。近隣に公共駐車場あり。

営業時間

年中無休。季節や祝日によって営業時間が変動します。訪問前に公式サイトで正確な時間帯をご確認ください。

料金

10歳未満は無料。コンボパスはオンラインでのみ購入可能です。

所要時間

ロワール川を望むパノラマテラスからの景色を楽しみながら、王宮（ロジ・ロワイヤル）やサン＝ユベール礼拝堂を落ち着いて見学するには1時間30分～2時間を目安にしてください。

写真撮影

ホールや庭園ではフラッシュや三脚なしの写真撮影が可能です。ただし、プライベートガイドツアー中やスタッフが指定する特定のエリアでは禁止されています。

対象客層

家族連れ、カップル、歴史愛好家に適した施設です。コース内には階段や石畳の床があるため、快適な靴をご用意ください。

アクセス方法

アクセス & 交通手段



バス

: オル島 – 4 min à pied

アンボワーズ駅（裏口）(12 min)・トゥール・ヴァル・ド・ロワール空港 (89 min)



車

アンボワーズ駅（裏口）(6 min)・トゥール・ヴァル・ド・ロワール空港 (70 min)



自転車

アンボワーズ駅（裏口）(7 min)・トゥール・ヴァル・ド・ロワール空港 (95 min)



徒歩

アンボワーズ駅（裏口）(12 min)

LOCALISATION

Où se trouve アンボワーズ王城？



📍 Montée de l'Emir Abd el Kader — 37400 アンボワーズ

🌐 47°24.819' N, 0°59.163' E



組織

城郭構造と見学ルート

レベル0：入口と地下通路

城門を通り抜け、最初の印象を受けるエリアです。ここでは防御構造の一部である地下通路や古い石畳の床を確認できます。警備員の遊歩道につながる入り口もあり、本館とは異なる視点からの探索が可能です。荷物の預かりロッカーも設置されており、快適な見学のために準備を整えることができます。

レベル1：ロジ・ロワイヤル（王宮）

シャルル8世によって建てられたメインホールを含む主要な居住空間です。高い天井と大きな窓からは自然光が注ぎ、ルネサンス期の豪華さが感じられます。壁画や装飾細節を詳しく観察し、当時の生活様式や芸術的傾向を理解しましょう。階段を上がると、よりプライベートな部屋や図書館跡にもアクセスできます。

レベル2：テラスとサン＝ユベール礼拝堂

城の最高地点であり、ロワール川のパノラマを楽しめるテラスがあります。サン＝ユベール礼拝堂はフラマンゴシック様式の傑作で、レオナルド・ダ・ヴィンチの墓が安置されています。静謐な雰囲気の中で、建築の美しさと歴史的意義を深く味わうことができます。



選択

見逃せない歴史的ハイライト

01

礼拝堂

サン＝ユベール礼拝堂

この礼拝堂は、レオナルド・ダ・ヴィンチの遺骨が安置されていることで世界的に有名です。フラマンゴシック様式の建築は、複雑な装飾と光の演出が特徴的で、訪れる者の心を静かに包み込みます。説明板を読み、その歴史的価値を十分に理解してください。

💡 ダ・ヴィンチの墓は、彼がフランソワ1世の庇護下で過ごした最後の数年間の象徴であり、芸術と王権の絆を示しています。

02

王宮

ロジ・ロワイヤルのメインホール

シャルル8世によって建設されたこのホールは、ルネサンス初期の建築技術を示す重要な例です。高い天井と大きな窓は、当時の王宮の豪華さと開放感を表現しており、訪れる者に圧倒的な存在感を与えます。壁画や装飾細節も必見です。

💡 このホールでは、王子たちの教育が行われており、知的中心地としての役割を果たしていました。

03

テラス

パノ라마テラス

城の最高地点にあるテラスからは、ロワール川と対岸の景色が一望できます。朝日の柔らかな光が騎士塔を照らす姿は、写真撮影に最適な瞬間を提供します。混雑を避け、静かな環境の中で景色を楽しむことができます。

💡 テラスからの眺めは、城の防御的な建築様式と河川景観とのコントラストを引き立て、ユニークな構図を生み出します。

04

外観

騎士塔（トゥール・カヴァリエール）

城の特徴的なシルエットを形成するこの塔は、防御機能だけでなく、視覚的なインパクトも大きいです。遠景からの撮影がおすすめで、橋や対岸から捉えると、その独特な形が際立ちます。建築の詳細を観察し、中世の要塞技術を感じてください。

💡 この塔は、城の防御システムの一部であり、敵からの攻撃を防ぐために設計されました。

05

王宮内部

シャルロット・ド・サヴォワの図書館跡

かつて豊富な書籍コレクションがあったこの場所は、アンボワーズが知的中心地であったことを示しています。王子たちの教育が行われていたため、文化的な重要性が高く、希少な書籍が含まれていたと言われています。現在では跡地ですが、その歴史的背景を理解するのに役立ちます。

💡 図書館の存在は、王家がこの王宮に付与した文化的な重要性を示しており、多くの学者や芸術家が集まりました。

06

庭園周辺

警備員の遊歩道

本館よりも人通りが少ないこの道は、防御建築や庭園に対して独特の視点を提供します。相対的な静けさを味わいながら、城のユニークな角度を発見することができます。瞑想的な休憩に適したスポットです。

💡 この遊歩道を歩くことで、主要な観光エリアと比較して隠れた魅力を見つけることができます。

07

近隣施設

クロ・リュセへのアクセス

アンボワーズ王城から近いクロ・リュセは、レオナルド・ダ・ヴィンチの晩年を理解するために不可欠です。彼の日常生活や発明品を見ることで、包括的な視点を得ることができます。コンボパスを購入すれば、効率的に両方のサイトを楽しむことができます。

💡 クロ・リュセとの組み合わせは、フランソワ1世治世下のイタリアの天才の日常生活を深く理解するのに役立ちます。

08

庭園

公園でのピクニック

内部見学後の休憩として、公園内の芝生ランチを活用しましょう。15世紀の城壁の下で新鮮な空気を楽しみながら食費を抑え、素晴らしい自然環境の中で体験を延長できます。家族連れやカップルに最適なアクティビティです。

💡 ピクニックは、城の歴史的遺産を身近に感じながらリラックスする方法です。

アドバイス

完璧な訪問のための秘訣

TIMING

テラスからの最高の景色を楽しむために、朝の早い时间来場をお勧めします。混雑を避け、日出時の柔らかな光で騎士塔を撮影できます。

PARCOURS

ロジ・ロワイヤルから始まり、最後にサン＝ユベール礼拝堂を訪れる順序がおすすめです。感情的な高まりとなる礼拝堂を最後にすることで、印象的なフィニッシュになります。

PAUSE

公園内でピクニックをする許可があります。内部見学後の休憩として、緑豊かな空間を活用し、食費を抑えながら体験を延長しましょう。

AUDIOGUIDE

オーディオガイドは政治的背景を理解するのに役立ちます。特にシャルル8世の変容過程を学ぶのに有効です。タブレット版HistoPadも利用可能です。

BILLET

コンボパス（クロ・リュセやシェノンソー併用）はオンラインでのみ購入可能です。現地では販売されていないため、事前に予約してください。

PHOTO

橋や対岸から騎士塔のシルエットを撮影すると、防御的な建築様式と河川景観のコントラストが際立ちます。オリジナルな構図を試してみてください。

ENFANTS

子供たちはダ・ヴィンチの発明品に興味を持つでしょう。クロ・リュセとの組み合わせで、歴史的な好奇心を刺激する充実した一日になります。

CONFORT

コースには階段や石畳があるため、快適な靴をご用意ください。適切な靴を選べば、疲れを防ぎ、歴史的遺産に集中できます。



よくある質問

よくある質問

アンボワーズ王立城のチケットは予約する必要がありますか？

オンライン予約は、特に繁忙期や週末に行列を避けるために強く推奨されます。これにより入場が保証され、貴重な時間を節約できます。さらに、一部のコンボパスはインターネットでのみ利用可能です。

グループや家族向けの割引はありますか？

はい、子供、学生、組織化されたグループ向けに優待価格が存在します。到着前に公式サイトで正確な条件を確認してください。グループ予約は多くの場合、専用フォームを通じて事前に手配する必要があります。

コンボパスは現地で購入できますか？

いいえ、コンボパス（クロ・リュセまたはシェノンソー併用）は物理的なチケット窓口では販売されていません。訪問前にオンラインで購入することが必須です。この行政上の制約は、現場での受付を円滑にし、王立城の窓口での行列を防ぐことを目的としています。

城の見学にはどのくらい時間がかかりますか？

ロワイヤル・レジダンスとチャペルを含む完全な見学には約1時間30分から2時間お時間をください。庭園を散策したりテラスを楽しんだりする場合は追加の時間を確保してください。建築の詳細をゆっくりと鑑賞するために、ご自身のペースで進めてください。

レオナルド・ダ・ヴィンチの墓はどこにありますか？

レオナルド・ダ・ヴィンチと推定される遺骸はサン＝ユベール礼拝堂に安置されています。この場所は城の標準的な見学コースに含まれています。見学の中で最も感情的な高まりとなるポイントであり、静かに追悼する時間を大切にしてください。

ご存知ですか？

エピソード & トリビア

ダ・ヴィンチの最後の避難所

レオナルド・ダ・ヴィンチと推定される遺骸はサン＝ユベール礼拝堂に安置されています。これは、イタリアの天才とルネサンス期のフランス王家との緊密な関係を象徴しており、アート愛好家にとって必見の巡礼地です。

1470年の王家の誕生

シャルル8世は1470年にアンボワーズ城で生まれました。これが彼がこの邸宅に対する特別な愛着の原因となっています。彼は中世の砦をエレガントな王宮に変え、イタリアの影響の始まりを示しました。

1434年の没収劇

城は、国王の寵臣に対するルイ・ダンボワズの陰謀の結果として没収され、1434年に王室領となりました。この出来事は地元の領主支配の終わりを意味し、フランスの王たちが主要な王宮とする道を切り開きました。

50ヘクタールの古代都市

このサイトは有史以前から居住しており、4世紀までローマの集落が連続していました。現在の中世砦が建設されるずっと以前、土塁で囲まれた50ヘクタールのオッピドゥムでした。

博物館周辺

アンボワーズの街並みは、城の雄大さを引き立てる魅力的な背景となっています。城から徒歩圏内にあるクロ・リュセは、レオナルド・ダ・ヴィンチが最晩年を過ごした邸宅であり、彼の日常生活や発明品を知るために必見です。また、アンボワーズ・サン＝エティエンヌ大聖堂の塔からは、城とロワール川を一望できる素晴らしい眺望が広がります。食事を求めるなら、緑豊かな環境に位置するレストラン ラ・タブル・デュ・クロで地元料理を楽しむのもおすすめです。さらに、第二次世界大戦の歴史に興味がある方は、抵抗運動博物館を訪れることで、地域の深い記憶に触れることができます。



アンボワーズ王城を訪れることは、単なる観光ではありません。それは、フランスの歴史の核心に触れ、芸術と権力が織りなす物語を体験することです。レオナルド・ダ・ヴィンチの眠る礼拝堂の前で立ち止まり、ロワール川の風を感じながら、永遠の美しさを心に刻んでください。